

第 115 回古民家歴史部会歴史探訪

「新・東海道の宿場探訪シリーズ・第 10 回」

平成 29 年 3 月 1 日(水)

「保土谷宿～戸塚宿」

*集合：JR 戸塚駅東口下車、保土ヶ谷駅東口行バス(④番)乗り場。

- (1) ~~行程~~ 程：下記探訪先に同じ
- (2) 食事場所：自由行動
- (3) 探訪先：「神奈川の宿場を歩く」、「東海道五十三次ハンドブック」等を参考にした。

戸塚駅東口=(バス移動)=保土ヶ谷町 2 丁目バス停下車(スタート)

- ① 樹源寺：日蓮宗の寺、鎌倉時代までは、真言宗の寺だったが、兵火により薬師堂だけになり、寛永年間(1624~43)に日蓮宗に改宗、身延山久遠時の末寺として開山した。
- ② 帝釈天王(旧元町橋跡近く)：堂外には、多くの石仏・石塔がある。
- ③ 権太坂改修記念碑：明治 17 年新道開通、明治 20 年鉄道開通により、通行量も減って道幅も狭くなり、昭和 30 年時の横浜市長平沼亮三氏より道路用地の寄贈を受け、拡幅と切通により改修した記念碑。
- ④ 権太坂：権太坂は、かつては江戸から上方へ向かう旅人が初めて経験するきつい登り坂だった。「権太坂」の名前の由来：(その 1) 旅人がこの坂で近くにいた老人に坂の名を尋ねた処、自分の名を聞かれたと思い、「ごんたでございます」と答え、それが坂の名になったという説。(その 2) 開発者：「権左坂」の転化説。
- ⑤ 若林家(黒塀門構えの旧家)：門内には、明治天皇の「御東幸御休憩所」の立て札が見える。
- ⑥ 境木立場跡：江戸時代、街道で人夫や駕籠かきの休息・休憩所であった。彼らが息杖を立て掛けた処から、この呼び名となった。
- ⑦ 境木地蔵・武相国境：境木地蔵は、ちょうど武蔵と相模の国境にあり(「武相国境の木」の杭が平成 17 年(2005)に復元されている。)ここは、権太坂や品濃坂を登りきったところで、見晴らしも良く茶店が軒を並べていて、旅人は名物の牡丹餅などを食べながら疲れを癒やしたという。
- ⑧ 焼餅坂：交差点の左手に続く急傾斜の坂道が「焼餅坂」で、坂の上に「焼餅(牡丹餅)」を売っている茶店があった。
(ウラへ)

- ⑨萩原代官屋敷跡・道場跡：萩原家は代々旗本杉浦氏の代官職として、この地に屋敷を構えていた。幕末から明治初年の当主太郎行篤は、直心陰流の免許皆伝で、ここに道場を開いていた。萩原家所蔵の「剣客名」には、新選組局長の「天然理心流・近藤勇」の名前も記されている。
- ⑩品濃一里塚：江戸日本橋から数えて9つ目の一里塚。道の両側の塚が、ほぼ当時の形で残されている所は、県内ではここだけで、県の史跡に指定されている。
- ⑪平戸果樹の里：戸塚区内でも貴重な農業専門地区の一つで、8軒の農家が四季折々の季節の果樹を栽培し、観光果樹園としてもにぎわっている。
- ⑫東 福 寺：臨済宗円覚寺派の寺だが、詳細資料なし。
- ⑬無量光仏碑(投込塚供養碑)：江戸時代、旅の途中、病気などで亡くなった無縁の人達は街道筋の穴に投げ込まれて葬られたという。昭和36年、この地域の宅地開発が行われた時、周辺から発掘された人馬の骨は、東福寺に葬られるとともに、この場所に供養塔が建てられた。
- ⑭平戸白旗神社：東戸塚駅近く、鬱蒼とした森「白旗山公園」の中にある。
源頼朝を祀る神社で、嘉永2年(1849)献灯の石灯籠、慶応2年(1866)献納の子犬を抱いた狛犬などがある。

—— (バス停) 国道平戸 = (バス移動) = 戸塚駅東口 (解散)

東海道歴史探訪10 保土ヶ谷宿～戸塚宿

2017.3.1

相模国境

江戸日本橋を出立し、最初の難所『権太坂』を登った峠が 境木立場。ここが『武蔵国』と『相模国』の国境。保土ヶ谷宿と戸塚宿の中間で、休憩場所としての役割もあった。近くには名物の焼餅やぼた餅を売る茶店があった。

【一口メモ】

ちなみに横浜市18区のうち瀬谷区・泉区・戸塚区・栄区と港南区の約半分が『相模国・(鎌倉郡)』でその他大部分(13.5区)は『武蔵国』だったことになる。

一世紀に渡る悲願の東戸塚駅

明治20(1887)年に戸塚駅と保土ヶ谷駅ができると、「中間に新駅」をとの住民運動が起こりました。

運動が実り「武蔵駅」という名称まで決定しましたが、関東大震災の影響で立ち消えに。その後の運動も戦争のため中断となりました。

再燃したのは昭和40年、陳情書を受けた市長が、当時の国鉄総裁に要望。昭和47年には地元協議会が10万人の署名を市に提出するなど、運動が展開されました。

こうして実現できた喜びはひとしおで、開業日(昭和55年10月1日)には数千人が駅前に集まり、新駅誕生を祝いました。



⑦ 境木地蔵尊

至新横浜

地蔵尊前

環2境木

至保土ヶ谷

環2品濃

東戸塚駅

SEIBU 西武

品濃坂

至戸塚

平戸小

平戸中

至保土ヶ谷

平戸小入口

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

至保土ヶ谷

⑤ 若林家

光陵高

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚

至戸塚



⑨ 萩原代官屋敷跡

⑪ 平戸の果樹の里

生産品目の一つが「浜なし」

「浜なし」とはナシの品種名ではなく、横浜市で認定された果樹生産者団体の統一ブランド名です。

「浜なし」はスーパーや青果店では販売していません。それは、市場に出荷をせず、市内数か所の直売所や生産者の庭先などで販売しているためです。



dimson